

# 様式 1

## 学力向上に向けた取組事例 (R元)

事務所名	県西	学校名 市町村名	結城市立江川北小学校	TEL	0296(35)0109
------	----	-------------	------------	-----	--------------

### 課題

- ・論理的に考えを進めて、それを説明できる児童



### 改善方法

- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業力の向上
- ・学力向上プロジェクトの充実

### 1 昨年度までの課題

- [国語] ・目的に応じて、文章の内容を的確におさえ、自分の考えを明確にして文章に表現すること
- [算数] ・資料の情報をもとに整理したり考察したり、数学的に表現したりすること
- ・論理的に考えを進めて、それを説明することや判断や考えの正しさを説明すること

### 2 取組のキーワード

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・学力向上プロジェクトの充実

### 3 具体的な実践

#### 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

- ・授業では全職員が「結城スタイル」を基本とした「江北スタイル」[資料1]の指導過程を実践した。毎時間、交流活動の場を設定し、ペアやグループでの学び合いを充実させた。
- ・「本時のねらいは何か」、「児童は何を学ぶのか」というゴールを意識した授業を展開した。
- ・授業で自分の考えを表現する時には、「根拠をもとに発表する」、「論理的に考えを進め、説明する」ことを必ず取り入れ、指導した。
- ・授業での教師と児童との対話の中で、「どうして」や「なぜ」等の問い返しを意識して入れたり、児童のつぶやきを拾い、学びの質を高めたりして、児童の深い学びにつなげた。
- ・授業の振り返りでは、「振り返りの視点」[資料2]を提示するとともに、「今日の学びシート」[資料3]を活用し、児童自身が自分の学びや変容に気づき、自分の学びを自覚できるようにした。

#### 2 学力向上プロジェクトの充実

- ・教育課程を工夫することで、学力向上を図った。  
(「朝の学力アップタイム」20分設定、新聞読み取りタイム設定、管理職・教務主任の算数科TT指導への位置付け)
- ・児童の学習意欲が向上できるよう、テストに向けての個人の数値目標を設定させた。  
(学力アップファイルの作成)
- ・全国学力・学習状況調査、県学力診断のためのテストの詳細分析を全職員で実施し、課題改善に向けての取組を明確にし、日々の指導に取り入れた。
- ・弱点克服のために、単元末評価テストの複数回実施や少人数指導を徹底した。
- ・家庭への学力向上プロジェクトの内容についての発信並びに家庭との連携を強化した。  
(家庭学習の手引き[資料4]の共有化、自主学習の奨励、プレテスト等の結果の共有化)

### 4 成果について

- ・児童の学習への意欲と積極性が高まり、学校評価児童アンケートでは「自分で考えたことを進んで発表する」の「はい・だいたい」と答えた児童が89%であった。(平成30年度 87%)
- ・全職員の学力向上に対する意識の高揚から、指導力を高め合い、学び合うことができるようになり、授業改善が進んだ。学校評価児童アンケートでは、「授業が分かりやすい」の「はい・だいたい」と答えた児童が97%であった。(平成30年度 95%)
- ・県学力診断のためのテスト、全国学力・学習状況調査の結果は、平成29年度より上昇し、県・全国平均を上回るようになった。